

「新しい医学教育の流れ」投稿規程

(2016年4月1日 施行)

(2020年9月14日一部改訂)

(2021年10月1日一部改訂)

1. 「新しい医学教育の流れ」の目的

本誌は岐阜大学医学教育開発研究センター (MEDC) の機関誌である。本誌は、MEDC の医学教育セミナーとワークショップやフェローシッププログラム等の開催報告の掲載と、国内外の医療教育およびその関連領域に関する活動ならびに意見を含めた情報交換に資することを目的とする。

2. 刊行形態

MEDC ホームページ上にオンラインジャーナルとして刊行する。

3. 投稿資格

- ① 筆頭著者は、原則として医療教育機関に所属して、医療教育に携わる者に限る。
- ② 医学教育セミナーとワークショップやフェローシッププログラム参加に関する「寄稿」は、当該企画の参加者に限る。
- ③ 「新しい医学教育の流れ」編集部が依頼・許可するものはこの限りではない。

4. 投稿区分

- ① 「寄稿」：医学教育セミナーとワークショップやフェローシッププログラムへの参加を通じて得た気づきや学び、意見・感想等を論じたもの
- ② 「活動報告」：特定の施設あるいは特定の地域における教育およびその関連の領域に関する独創性・新規性のある教育活動報告
- ③ 「総説」：医療教育およびその関連領域に関する特定の主題について、これまでの知見、研究業績を総括し、体系化あるいは解説したもの
- ④ 「主張」：医療教育に関する意見・提言

5. 倫理配慮・著作権等

- ① 全ての著者は原稿作成に直接関与したものであることを要する。筆頭著者は全ての著者が原稿の投稿・公表に同意したことを確認してから投稿する。
- ② 人を対象とした調査内容を含み倫理的配慮が必要なものは、研究開始に先立ち投稿者の所属施設の倫理審査委員会等で承認されることが必要である。その場合、承認番号を本文中の該当箇所に明記すること。

- ③ 投稿原稿の内容は他誌に未発表のものに限る。本誌への掲載の可否が決定するまで、他誌への重複投稿はできない。高度の剽窃等が疑われた場合は、該当論文の掲載審議を中止する。また該当論文の再投稿をも認めない。
- ④ 掲載される全ての論文等の著作権は MEDC に帰属する。MEDC は、掲載論文等の全体もしくは一部を MEDC が認めたネットワーク媒体、その他の媒体で任意の言語で掲載、出版することができる。なお、本誌の掲載論文の一部の転載を希望する場合はMEDC より転載許可を得た上で出典を明記しなければならない。
- ⑤ 投稿原稿の著者は、全ての共著者から著作権の帰属について了解を得なければならない。著作権は論文原稿等を編集部で受け付けた時から MEDC に帰属する。ただし、編集部での審議の結果、本誌が投稿原稿を受理しない決定がなされたときは、その時点で MEDC は著作権を放棄し、同時に著作権は自動的に著者に返還されるものとする。
- ⑥ 学術機関レポジトリ等への登載・公開は、著者及び全ての共著者の承諾があるものとして認める。

6. 掲載の基準

- ① 日本医学会医学雑誌編集ガイドライン* 第2条第3項に示された定義に則り、本誌編集部は内部査読を実施し、投稿原稿の採否を決定する。

*日本医学会日本医学雑誌編集者会議. 医学雑誌編集ガイドライン. 2015.
URL: https://jams.med.or.jp/guideline/jamje_201503.pdf

- ② 審議の結果、編集部は、編集方針に従って原稿の加筆・修正を求めることができる。
- ③ 編集部が、投稿原稿の内容が本誌の目的に沿わないと判断した場合は、掲載を認めない。

7. 執筆要項

- ① 原稿は、MEDC が定めたテンプレートファイルを用いて作成すること。テンプレートファイルは、MEDC ホームページよりダウンロードできる。

URL: <https://www1.gifu-u.ac.jp/~medc/bulletin/content.html>

- ② 完全完成原稿を提出すること。
- ③ 英数字および記号は半角文字を用いること。
- ④ 原稿の長さは、「寄稿」「活動報告」「総説」では、図表を含めて A4 判用紙（テンプレートファイル）で 6 ページ以内とする。「主張」では A4 判用紙で 4 ページ以内とする。
- ⑤ 図(グラフ、写真を含む)や表は、本文中に挿入し、いずれも明瞭なものであること。不鮮明な場合は、元ファイルの提出を求める場合がある。
- ⑥ 既刊の図表を転載・引用する場合は、必ず著作権者の転載許可を得た上で出典を

明示して使用する。原稿執筆の際は、盗用・剽窃について十分に留意すること。

- ⑦ 引用文献はバンクーバー方式に準ずる。引用は、本文と直接関係のあるものに止め、本文中で引用する都度、順次上付きの算用数字で番号を付け、引用文献欄に番号順に記載する。著者が7名以上の場合、第1著者から第6著者までを記載し、第7著者以下を「他」または「ら」、「et al.」と省略して記載する。以下に例を示す。

【雑誌】 著者名. 標題. 誌名 発行年; 巻(号): ページーページ.

例:

丹羽雅之, 西城卓也, 川上ちひろ, 今福輪太郎, 恒川幸司, 早川佳穂 他. 第68回医学教育セミナーとワークショップ: FDとSDの融合の試み. 医学教育 2018; 49(4): 366-70.

Saiki T, Imafuku R, Pickering J, Suzuki Y, Steinert Y. On-site observational learning in faculty development: impact of an international program on clinical teaching in medicine. J Contin Educ Health Prof 2019; 39(2): 144-51.

【雑誌(電子版)】 著者名. 標題. 誌名 発行年; 巻(号): 論文番号. URL

例:

Obara H, Saiki T, Imafuku R, Fujisaki K, Suzuki Y. Influence of national culture on mentoring relationship: a qualitative study of Japanese physician-scientists. BMC Med Educ 2021; 21: 300. <https://doi.org/10.1186/s12909-021-02744-2>

【編著書】 編著者名(編). 書名. 発行所, 発行地, 発行年.

例:

川上ちひろ, 木谷秀勝(編). 発達障害のある女の子・女性の支援—「自分らしく生きる」ための「からだ・こころ・関係性」のサポート. 金子書房, 東京, 2019.
Bridges SM, Imafuku R (Eds). Interactional Research into Problem-Based Learning. Purdue University Press, West Lafayette, IN, 2020.

【著書(分担執筆)】 著者名. 標題. 書名(編者名). 発行所, 発行地, 発行年, ページーページ.

例:

今福輪太郎. インタビューに基づいた研究事例②. 医療者のための質的研究はじめての一步!!(片岡竜太, 渡邊洋子 編). 薬事日報社, 東京, 2021.

Imafuku R. Undergraduate research in Japan: Beyond the dichotomy of product-oriented and process-oriented approaches. In: Hensel NH, Blessinger P, editors. International Perspectives on Undergraduate Research. Palgrave Macmillan, Cham, 2020, pp. 99-114.

【インターネット/Webpage】作成者あるいは作成機関. 標題. URL(アクセス日 年月日).
例:

岐阜大学医学教育開発研究センター. 投稿規程. URL: <https://www1.gifu-u.ac.jp/~medc/bulletin/content.html> (アクセス日 2021年9月30日).

8. 投稿方法

① Email に原稿データ (PDF 不可) を添付して編集部へ送信する。

② 送信先 岐阜大学医学教育開発研究センター

「新しい医学教育の流れ Online Journal」編集部

medcaf@t.gifu-u.ac.jp

*編集部は、送信元に投稿原稿を受領した旨の確認メールを送る。

③ 原稿の加筆・修正依頼や本誌掲載の採否等は、著者にメールで通知する。